

## あ さ ひ



## 郷土の文化遺産や文化人の足跡をたずねて

(6)

## … 耕地整理の先覚者 …

藤井十三郎氏 (舟川新)

朝日町舟川新の藤井十三郎氏は、明治8年、代々地主でもある部落総代の藤井家に生まれた。

生来才気に富み先見の資質を備え、20才を出たばかりの若さで既に舟川新の耕地整理に着目し、同志の山崎市次郎氏(現存、100才、朝日町最長寿者)と語らい、2人が中心となってその必要性を村民に呼びかけ、一方郡参事や県議にその計画を提示して協力を求めた。

しかしながら、耕地整理を行なうためには、散在する農家を、新設道路の沿線に集めるため、部落民は先祖伝来の土地をはなれることに強く反対し、さらに、同じ青年層がこの事業を理解せず、「藤井、山崎の話に乗ったら将来土地を取り上げられてしまう」とと猛烈な反対運動をおこしたが、二人はこれに屈せず、耕地整理の利のあるところを個々に説得し、協力者の中から10名の委員を選び、明治30年いよいよこの大事業に着手した。

計画内容は省略するが、現在行なわれている圃場整備事業を、既にこの時代に行なおうとしたもので、二人は事業実施に必要な資金繰りに最も苦労したらしく、藤井、山崎両家の私財を悉く投じてやりくりして、勸業銀行や地元銀行への借入れや返済を続け、先ず最初に家屋の移転整理から着手した。

その間、金沢から火災予防のためにポンプの購入、富山から風呂釜を取り寄せて村に共同浴場の建設、あるいは村営の共同

物品購買所を設けたり、倉庫を建てて家財道具の保管に当てるなど、約5年間で第1期工事としての家屋移転を完了した。

明治35年7月、いよいよ耕地整理事業に着手、作業能率を上げるため富山から初めてスコップを購入し、トロツコを借り受けるなど、沼地の埋立、雑木の伐採等、苦節10年の長い歳月を費やし遂にこれを完成した。

この結果20町8反歩の増歩を実現したのであるが、出張費や役人、銀行員の接待費等はすべて私費負担で処理したため、藤井、山崎両氏の手に残ったものはわずか1町歩の田だけであった。

さらにこのあと両氏は村の生活改善に着目し自らその中心となって因習を打破し、月1回の休日を設けるなど、藤井十三郎氏は山崎氏と共に、その説得力、企画実行性、指導統率力など抜群の人材であった。ところが大正2年、藤井氏は急に病を得て38才の若さで急逝された。村は挙げて氏の死を悼み、この偉大な人物の業績を永く後世に伝えんと、村内に顕彰碑を建立してその徳を讃えた。

なお、氏の邸内にあった杉の大木は、ほとんどこの事業の経費に当てるため伐採されたが、村ではこのうち一本だけを記念として残したのが現在町指定天然記念物「舟川一本杉」でありこの一本杉は今も偉大な藤井十三郎氏そのものを表徴するように舟川新の一角に聳立している。

(写真は青年藤井十三郎氏と当時の資料及び顕彰碑)

## 議会だより

△朝日町議会臨時会▽

### 企業誘致調査特別委員会の設置と

#### 工事請負契約の可決

昭和四十八年第三回朝日町議会臨時会は、八月十一日、会期一日をもって開会されました。

本臨時会では、工事請負契約一件を可決したあと、企業誘致調査特別委員会を設置、松倉委員長ら七委員を決めて散会しました。

工事請負契約は、笹川地内の町道田中―大鷲谷線災害復旧で、折谷工業との間に工費千八百十万円、工事

完成十二月二十五日とするもの。

また企業誘致調査特別委員会は、大和薬品工業(富山市)の誘致問題について調査を行なうもの。

企業誘致調査特別委員会

委員長 松倉健三

副委員長 安達義雄

委員 山岡政次 渡辺秋男

酒井 栄 扇谷隆二

美佐光平

### 木流川橋完成

下町橋向町

県営工事として、昭和四十二年度より一億八千万円の予算で、木流川

(下町橋向町)の改修工事が行なわれてきておりますが、この工事の一環として、本年度は県道泊―山崎線の木流川橋のかけかえ工事をすすめておりましたがこのほど完成しました。

この新しい木流川橋は総工費七百七十万円をかけ、延長十・二米、幅員六米の立派なもので、付近一帯の環境美化と、交通緩和にひと役をかっております。

### 離岸堤できる

海岸侵食工事

赤川―草野海岸

建設省黒部工務所では、赤川草野海岸の侵食ならびに浪害防止対策事業として、離岸堤工事を進めていきましたが、このほど完成しました

・赤川海岸 延長 百米  
工事費 八千五百万円  
・草野海岸 延長 百米  
工事費 八千五百万円  
△写真は完成した離岸堤▽



### 町営工事入札状況

Ⅱ 百万円以上の工事 Ⅱ

最近入札された百万円以上の工事はつぎのとおりです。

一、町道田中大鷲谷線災害復旧工事 (魚川)

工事費 千八百十万円

延長 百七十三・七米

巾員 三・〇米

工期 八月十二日～十二月二十五日

二、町道下山新殿町線改良工事 (横水)

工事費 五百三十二万円

延長 二百九十三・六米

巾員 七・〇米

工期 八月十日～十二月二十日

### 軽自動車にも

車検がいります

◆ 十月一日から ◆

道路運送車両法の一部改正に基づき、いままで自動車の検査対象から除外されていた軽自動車に対してもその安全確保と公害防止の徹底をはかるため、今年十月一日から検査が実施されることになりました。検査は次の要領によって行ないます。

記

一、検査を受ける場所

富山市藤ノ木 五二〇ノ一

軽自動車検査協会富山事務所

二、検査対象車

三、四輪の軽自動車

三、検査証及び検査標章の交付

検査を受けると、その軽自動車について、乗用、貨物共一律に有効期限二年とする検査証と検査標章(前面ガラスに貼るステッカー)

が交付されますので、この表示がないと運行の用に供してはならないことになっています。

四、現在使用中の軽自動車の検査期限

検査期限は、軽自動車届出済表の届出年月日によって異なりますので、現在使用中の車の検査を受ける期限について知りたい方は、役場の税務課、またはよりの自動車整備工場へ、問い合わせてください。

### 住宅統計調査について

おねがい

本年十月一日を期して、総理府統計局所管の第六回住宅統計調査が実施されます。

この調査は住宅およびその居住世帯についての実態を把握して、現在の住宅状況と住宅事情の推移を明らかにするとともに、住宅建設五カ年計画の立案、ならびに諸政策の基本的資料を得ることを目的としたものです。

朝日町においても次の十五調査区が調査対象として指定されましたので、調査員の方々が伺った際には、よろしくご協力下さるようお願いいたします。

調査員

担当区域

八木仙之助

上町の一部

小杉待子

中町の一部

川久保基作

沼保全域

柳下康浩

平柳二区全域

追分健作

草野の一部

銀治嘉一

桜町の一部

田中恒雄

中三浦町全域

玉木俊夫

東下町全域

佐々木一雄

温泉町全域

吉田彦一

石谷全域

大森周三

殿町の一部

鍋谷義輝

舟川新全域

水野政行

下山新の一部

水島英男

境の一部

大蔵栄作

羽入の一部

### ◆ 今月の税金 ◆

今月は国民健康保険税第二期分の納付期限月です。忘れずに月末まで納めましょう。

## 人気歌手

### 都 はるみを招き

盛大に開かれる

### あさひ音頭発表会

朝日町では、広く町民各位に親しみをもって歌っていただける町歌の普及をはかろうと、昨年来、その準備を進めておりましたが、このほど朝日町商工会が中心になり、中山輝氏作詞、黒坂富治氏(朝日町出身、富山大学教授)作曲による「あさひ音頭」のレコーディングを完成しました。

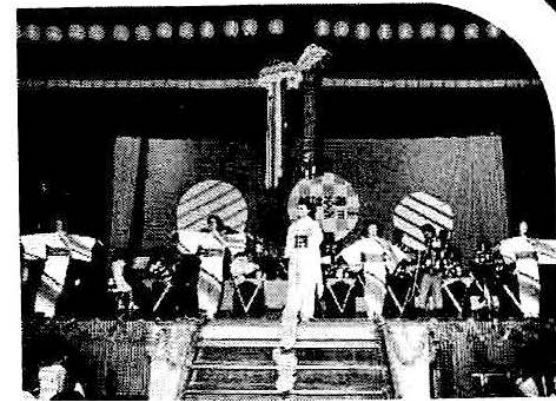
念しての「あさひ音頭」発表会が、朝日町商工会に中心になっていただき、八月五日、泊中学校において、これを吹き込んだ都はるみを招いて盛大に開催されました。

いつまでも、全町民の歌として、あらゆる機会に愛唱される「あさひ音頭」にしたいものです。



△写真は婦人会員の踊りもあわせて行なわれた朝日音頭発表会△

て制作されたものですが、その後、時の経過とともにほとんど忘れられてしまい、これではいけないと、黒坂富治氏に一部作曲を改訂していただいて、このたびのレコーディングとなったのです。レコーディングは、コロンビア専属歌手、都はるみによるもので、裏面には、郷土の盆踊り音頭「愛本橋大蛇口説」が吹き込んであります。



「あさひ音頭」の方  
レコードを希望の方は  
商工会へ  
—— 片 面 ——  
郷土の盆踊り  
「愛本大蛇口説入り」

このほどレコーディング完成しました「あさひ音頭」のレコードは、町民各位のご協力により多数お求めいただきましたが、まだ余裕がありますので、レコード購入希望の方は直接、朝日町商工会事務局へお出かけください。一枚六百円でおゆすりいたします。

県外にいる知人友人家族などの方々へ郷土の歌を贈ってあげましょう

## 心身障害者

### 雇用促進月間

▽九月一日～三十日△

労働省、富山県および魚津公共職業安定所では、九月一日から三十日までを心身障害者雇用促進月間と定め、心身にハンディのある人たちの雇用を促進するための運動を、強力に展開することとしています。

月間中には、巡回職業相談の実施、心身障害者職業対策会議等の開催、雇用の勧奨および就職あっせんの強化などを予定していますので、就職を希望される人がありましたら、魚津公共職業安定所(〇七六五―二四一〇三六五)へご一報ください。安

## 消防署だより

### 台風シーズンと火災予防

#### △防火心得 七カ条▽

いよいよこれから台風シーズンを迎えますが、台風通過時には、当地方特有のフェーン現象により空気が乾燥し、火災が発生すると大火になりやすい気象条件となります。

過去において、魚津、黒部、生地等の大火は、台風によるフェーン現象下の典型的な災害です。

台風が近づいたらラジオ、テレビ有線放送等の報道に気をつけて、ころはぬ先の準備を、おこならないよう次の事項に気をつけてください。

- 一、たき火等は水をかけて完全に消火すること。
- 一、屋外でタバコを吸わない。
- 一、食事等の準備は早目にし、台風通過時にはあらゆる火の使用をしないようにすること。
- 一、建物の補強をすることも大切ですが、屋外の電灯や引き込み線が切れないか、どこかに触れていないか点検しておく。
- 一、水にぬれて熱を出し燃えたりする危険物や、大切なものは早く安全な場所に移しておく。

定所では皆さんのご期待にそうよう努力いたします。

なお、商店や会社、工場などの経営者におかれては、これらの人たちの採用について積極的に、ご協力をお願いいたします。

#### お願い

一、懐中電灯や、できればトランジスタラジオも準備し停電にそなえる。

一、万一にそなえての食糧や飲料水、避難するときの服装、はきもの等を用意しておく。

また、稲の収穫期になり乾燥機を使用されると思いますが、使用の際には消火器を備えて、乾燥機よりの火災発生防止に注意し、また田んぼ等で火を使う場合は、事前に消防署へ届け出をしなければならぬことになっていきますので、無届けで行わないようにしてください。なお夜間および風の強い日、乾燥している時は避けてください。

火災が発生しますと、ダイヤル一九番(火災、救急専用電話)を回しての問い合わせが殺到しますが、火災その他の災害の通報及び救急の要請以外、一九番の使用はできない事になっております。一部の人が火災、その他の問い合わせに一九番を使用されまうとその時間だけ一九番は話し中となり、万一救急等の要請があっても一九番につながらず大事な人命にかかわることになりますので、火災その他の問い合わせには一九番を使用しないようにしてください。又、問い合わせに一九番をダイヤルされても応じませんのでそのような時には〇一〇〇九番にダイヤルしてください。

ふるさとの自然を

いつも美しくきれいに

川や海はゴミ捨て場ではない

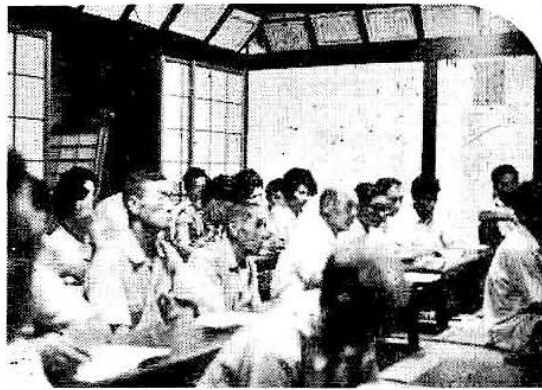
## 社会教育

### 月山公民講座

生涯教育

時代に遅れじと  
地域の人が相集い、社会情勢を知ったり、一般的な教養を身につけたりし、激しく移り変わる社会に遅れをとるまいと、このほど、月山町内会を中心として月山公民講座が開講しました。

第一回目は開講式のあと、中川町長を講師に月山における問題点々を中心に話し合われ、話題は月山地区を横断すると予想される北陸高速自動車道路のことについて集中し、月山の将来について熱心に話し合われました。



## 朝日町の文化サークル活動

### 自己を見つめ 真の生き方を 求めて

松林青年参禅会

昭和四十年前後から急速に発展したわが国の異常な物質文化の伸展に対して、一方では古くからの精神文化を見なおす運動が興り、人間復活の声が強く叫ばれるようになってきている。

特に禅道については、アメリカやヨーロッパあたりでもその真価を認め、最近では禅ブームの感を呈している面もあるようである。

昭和三十八年一月、朝日町在住の青年層の中でもこの複雑化する世相の中で、人生における真の喜びは何か、真の自己とは何かを求めて、「松林青年参禅会」が結成された。

会員は主として高校生、大学生、一般の男女で、古い伝統をもつ「参禅会」と、松林寺護持会の後援を得て、松林寺住職在田祐芳氏の指導を受け、続けられている。

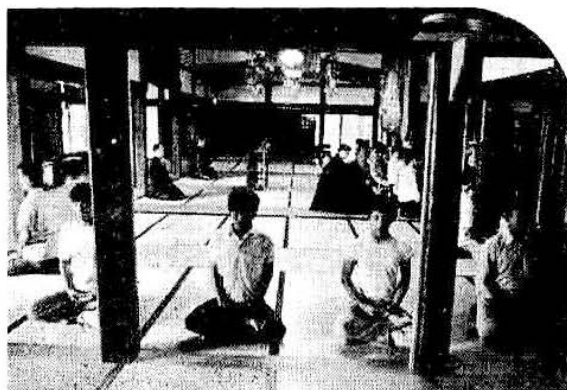
毎年八月には中央から著名な講師を招いて「禅の集い」を一般公開するが、本年は去る八月四・五日、第五回松林参禅の集いが開かれ、駒沢女子短大教授、東隆真氏の「真理を求めて」、泉精神開発室、武部月葉氏の「親に求めるもの、子に求めるもの」の講演が一般公開され、本堂に溢れるばかりの聴衆が集まり、大好評であった。

松林青年参禅会は、毎月第一・三

日曜日午後八時から座禅を開き、あと人生論を中心に体験談や意見を出しあい討論している。

会費は月額 学生五〇円 一般百円  
だれでも自由に入会できる

役員 会長 岡 静男  
座禅指導 松本 鋼造  
事務局 岡 明夫  
顧問 在田 祐芳  
事務所 朝日町 松林寺  
写真写真は座禅する青年たち



## 青少年スポーツ

### 児童クラブ

#### 野球大会

#### 第四回 朝日町

#### 児童クラブ野球大会△

第四回朝日町児童クラブ野球大会は七月二十四日、小丸山・泊中グラウンドで町内の児童クラブ十四チー

ムが参加して行なわれ、熱戦の末本町チームが十三対三で上町チームを破り四連勝を飾った。

なお本町、上町チームは八月六日入善町で行なわれた下新川郡大会に出場、健闘むなしく県大会出場を果たせなかった。

## 富山県児童水泳大会

八月十八日、富山市民プールにおいて富山県児童水泳競技大会が開催され朝日町から九名の児童が都代表として出場したが、日ごろの練習の成果を存分に発揮し、下新川郡は次勝を獲得、賞状と大きなカップ、それに金メダル、銀メダル各一個、銅メダル三個といううりっぱな成績でした。

## 学童水泳教室

泳がない子と  
水をこわがる  
子どもたちの  
ために

山崎、大塚、町営プール

「泳がない児童や、水をこわがる子をなくそう」と今年も八月七日から三日間、山崎、大塚、町営プールで学童水泳教室が行なわれました。町の体育指導委員や水泳協会の先生の熱心な指導に、水をこわがっていた子どもも水を泳ぐようになり、またビート板を使わずに泳げる児童もみられるなど予期以上の成果をあげました。

## 魚津地区

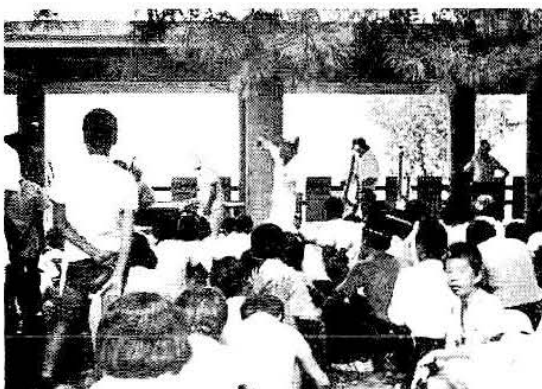
## スポーツ少年大会

朝日町で開かれる

魚津地区のスポーツ少年団員が一堂に会し、今後のスポーツ少年団活動をさらに高めようと去る八月二十三日朝日町でスポーツ少年大会が開催されました。

最初に泊中講堂で朝日町柔道スポーツ少年団と黒部市大布施サッカースポーツ少年団が日ごろの活動ぶりを発表し、続いて同校をスタンプとするオリエンテリング大会が開かれました。地図と磁石をたよりに十のチェックポイントを探すこの競技には、それぞれのポイントに、クイズや簡単な常識問題などが用意され、団員がブロック毎にこの問題を解きながら宮崎城跡のある城山の頂上に達するしくみに計画されており団員には愉快でたのしい有意義な一日でした。

写真写真はオリエンテリングを終わって城山頂上において史蹟の説明を聞く団員たち



# 体協だより

## 第十五回町民水泳大会 第五回小・中学校 水泳記録会

◇八月五日町営プール◇

### ◇小学校の部◇

▼五年女子五十米自由型①江端みちよ(山)②大森雅子(山)▼六年女子五十米自由型①村上いずみ(泊二)②山崎清美(山)▼五年男子五十米自由型①住吉透(大)②大森博彰(南)▼六年男子五十米自由型①中島裕幸(南)②小林昇(泊二)▼五年女子五十米平泳①米丘可奈子(南)②北山真弓美(南)▼六年女子五十米平泳①宇田智子(南)②下坂遊子(南)▼五年男子五十米平泳①大森博彰(南)②渡辺茂(山)▲六年男子五十米平泳①下沢浩樹(泊二)②脇山正美(泊二)▼五・六年男子五十米背泳①脇山正美(泊二)②増山一豊(泊三)▼五・六年女子五十米背泳①大谷美千子(泊三)②水野由香理(五)▼男子百米自由型①中島裕幸(南)②長崎保浩(泊二)▼男子百米平泳①脇山正美(泊二)②松下茂(泊三)▼女子二百米リレー①山崎②泊二区▼男子二百米リレー①泊二区②南保

### ◇中学校の部◇

▼女子百米自由型①筒井美智代(泊二)②野田裕子(泊三)▼男子百米自由型①長井裕生(泊一)②森島浩(南)▼女子百米平泳①舟見美千子(泊二)②大平葉子(泊三)▼男子百米平泳①長井裕生(泊一)②森

島浩(南)▼女子百米背泳①野田裕子(泊三)②筒井美智代(泊二)▼男子百米背泳①森島浩(南)②松原隆明(泊三)▼女子二百米リレー①泊三区②泊二区▼男子二百米リレー①泊一区②南保

### ◇一般の部◇

▼男子五十米自由型①谷栄一(泊三)②中島繁(泊三)

### ◇地区対抗成績◇

▼小学校の部  
①南保 ②山崎 ③泊三区  
▼中学校の部  
①南保 ②泊一区 ③泊三区

## 朝間野球大会 優勝さまる

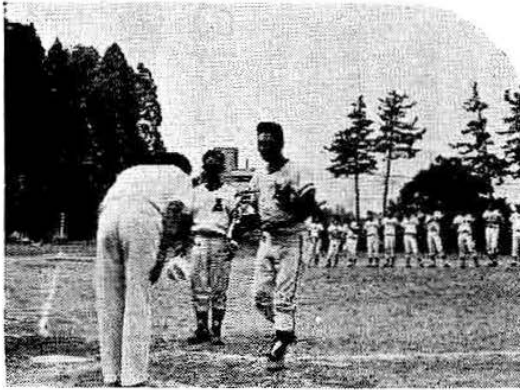
### 朝日町役場チームに栄冠

#### 準決勝

朝日町役場9-3泊教員クラブ  
朝日町中央農協A9-2さつき会  
決勝

朝日町役場5-2朝日町中央農協A

△写真は朝間野球大会の表彰式▽



▼総合  
①南保 ②泊二区 ③山崎

## 第十九回町民野球大会

(八月十九日 小丸山、泊中)  
①泊二区 ②五箇庄

## 保健と衛生

### 夏バテの防止と その回復法

#### ①健康診断

異常な暑さで思わぬところに不調をきたしています。血圧の低下、貧血、胃腸障害など多少体に不調を覚えたら早めに診察を受けましょう。

#### ②休養、睡眠

午睡をする。眠れない時は身体を横にして休むだけでも良く又、涼しくなる時期ですがこれまでより少し早めに寝床について睡眠時間を長くしましょう。

#### ③栄養

油を使った料理や、卵・豆類、野菜を食べましょう。完全栄養食品といわれる牛乳は、体力回復にはもってこいのものです。

#### ④運動

暑いから、疲れているからと、じっとしているより、身体を動かして汗を流せば、かえって心身共にさっぱりします。

#### ⑤規則正しい生活

暑さで多少リズムになっっている生活を規則正しいリズムカルな生活に戻しましょう。

## 国民年金

### 脳卒中後遺症の方は 障害年金が 受けられます

最近の死亡原因の割合は、脳卒中が最も多く、ついでガン、心臓疾患という順です。

脳卒中はいったん病気にかかると良くなっても、あとで身体の後遺症を残す場合が多く、このように身体が不自由になった人に対しては、国民年金制度で障害年金を支給します。いままで脳卒中により障害年金を請求した人の例をみますと、病気が固定してから、かなりの期間が経過した後で年金を請求している人が多く、そのためいつから障害年金を支給される程度の障害になったか確認しにくく、年金を支給するうえで不利になる場合もでてきます。

発病後六カ月を経過しますと障害年金の対象となりますので、身体マヒのため苦しんでおられる方は、一度役場の国民年金係で相談してください。ただし、六カ月を超えたからといって、症状が固定していない間は年金の対象になりません。

なお、心臓疾患、肝臓・腎臓疾患あるいは肺結核などの内部疾患については、発病後三年未満の場合は年金の対象となりませんが、三年を過ぎても治らないで、長期間治療を続けている方は、障害年金が支給されることもありますので役場国民年金係へご相談ください。

## 連青だより

町長から  
町の現状を聞く  
朝日町連合青年団

連合青年団は初めての試みとして八月十七日町長との対話集会を行いました。

同集会には約三十五名の青年団員をはじめ、町内会長さんなど一般の方にも参加していただき、今、問題になっている棚山台地開発整備計画や、道路計画、圃場整備計画について町当局から説明を聞き、青年として、また地元民としての意見を発表しました。

このことは十月から予定されている朝日町青年議会にも大いに参考になるものと思われ、その成果が期待されます。

## 青少年を守るに 家ぐるみ町ぐるみ

第三日曜日は 家庭の日

家族みんなで話しあい

力を出しあい

楽しみあいましょう

自転車二人乗り

無灯火をなくしましょう

おとなも こどもも

交通ルールを守り

みんなで注意しあい

ましょう

## 交通安全

### 秋の 全国交通安全 運動

9月21日～9月30日

昭和四十八年秋の全国交通安全運動は九月二十一日から九月三十日まで十日間にわたって全国一斉に展開されます。今回の運動では、「歩行者とくに、子どもと老人を交通事故からまもる」ことに重点を向けることになりました。

・子どもの事故は全国平均を大きく上回っています。  
子どもを交通事故からまもるためには、つぎのことにご協力願います。

#### スクールゾーンの充実

スクールゾーンは子どもにとって唯一のセーフティゾーンです。スクールゾーン内においては子どもの事故は一件もおこらないようにしたいものです。  
子どもにもっとも大きな影響を与えるのはお母さんです。  
子どもをもつお母さんひとりひとりが十分な関心をもって自ら交通ルールを実践指導していくとともに、お互いに力を合わせ、自分の子も、よその子もともに交通事故からまもるという心構えと行動がたいせつです。  
おとしよりは

あなたかく親切に

## 図書館たより

新しい本がたくさん  
入っています  
利用しましょう



おとしよりは交通ルールに暗くまた現代の激しいモータリゼーションに適応していくだけの感覚に欠けています。  
おとしよりの事故で多いのは夜間の歩行中自転車、右左折時です。  
おとしよりの夜間のひとり歩きはさける。  
・交通量の多いところではできるだけ自転車に乗りないう、家族やまわりの人がみんなであたたかくみちびいていくことがたいせつです。

いよいよ読書のシーズンとなりました。図書館では利用者の皆さんが快適に読書できるよう、心をくばっており、皆さん方のご利用を心からお待ちしております。  
ちなみに、八月中の図書館の利用状況を見ますと、利用者が急激に増えており、一日平均七〇人が利用しています。これは平常の月の約一・四倍で、この原因として、児童、生徒の夏休み、および館内の冷房が完備されている快適に読書なり勉強ができるといったことがあげられます。  
なお、毎月新しい本がたくさん入っており、また見たい本が朝日町図

#### 新しく入った図書

珍姓奇名  
バクの飼主めざして  
フロイト  
妻一人娘二人猫五匹  
西園寺兄弟の体験的中国案内  
結婚式の司会  
きらわれる親好かれる親  
愛をめぐる人生論  
ムツゴロウの動物巷談  
立山とガイドたち  
交通事故の法律知識  
戦艦大和(上・下)  
浮世絵大系(歌麿、写楽)  
現代PTA入門  
百万人のトランプ手品  
ドクターケニヤ奮戦記  
星座をさがそう  
乱世に生きる  
佐久間 英  
庄司 薫  
小此木啓吾  
永 六輔  
西園寺一晃他  
江川ひろし  
立原 正秋  
畑 正憲  
北日本新聞社  
自由国民社  
児島 襄  
集英社  
平湯 一仁  
氣賀 康夫  
佐伯文太郎  
藤井 旭  
浜野 卓也



書館にない場合でも県立図書館をはじめ、県下の各図書館から借りることができ、えんりょなく申し込んでください。  
△写真は最近の図書館利用風景△

#### 本年1月から7月までの利用状況

| 月  | 利用者   | 利用冊数  | 人館者   |
|----|-------|-------|-------|
| 1月 | 1,106 | 1,453 | 1,794 |
| 2月 | 1,281 | 1,687 | 2,158 |
| 3月 | 1,549 | 2,044 | 2,895 |
| 4月 | 1,065 | 1,341 | 1,768 |
| 5月 | 1,268 | 1,673 | 2,269 |
| 6月 | 1,207 | 1,552 | 1,992 |
| 7月 | 1,273 | 1,627 | 2,020 |

#### 8月の利用状況

| 8月  | 利用者   | 利用冊数  | 人館者   |
|-----|-------|-------|-------|
| 1日  | 88    | 113   | 141   |
| 2日  | 68    | 75    | 114   |
| 3日  | 69    | 85    | 93    |
| 4日  | 66    | 85    | 114   |
| 5日  | 40    | 50    | 63    |
| 7日  | 89    | 117   | 134   |
| 8日  | 59    | 72    | 110   |
| 9日  | 70    | 81    | 115   |
| 10日 | 78    | 91    | 128   |
| 11日 | 80    | 102   | 125   |
| 12日 | 36    | 38    | 74    |
| 14日 | 56    | 73    | 100   |
| 15日 | 36    | 49    | 62    |
| 17日 | 84    | 90    | 117   |
| 18日 | 71    | 93    | 115   |
| 19日 | 37    | 45    | 84    |
| 21日 | 67    | 88    | 105   |
| 22日 | 67    | 80    | 103   |
| 23日 | 78    | 98    | 125   |
| 24日 | 59    | 79    | 104   |
| 25日 | 72    | 74    | 112   |
| 26日 | 35    | 43    | 67    |
| 28日 | 81    | 98    | 121   |
| 29日 | 53    | 66    | 91    |
| 30日 | 41    | 53    | 79    |
| 31日 | 63    | 86    | 110   |
| 小計  | 1,643 | 2,024 | 2,706 |

主婦とおんな  
日本の黒い霧  
戦争おじさんへ  
ミミの水泳教室  
地価インフレと農業  
国立市公民館市民  
にせがね捜査  
小判生糸和鉄  
ベトナム帰還兵の証言  
知識人の政治  
にっぽん退屈党  
奥村 正二  
陸井 三郎  
脇 圭平  
五木 寛之  
加賀 乙彦

#### スポーツ界の功労者

#### 高松宗繁氏逝去される

朝日町体育協会発足以来、その中心となつて、理事長、副会長の要職にあり協会の今日を築く基となられた高松宗繁氏が八月十二日、薬石効なく、六十三才の生涯を終えられました。  
故人は、各種の体育行事の企画とその実施に全く精力的に活動され昭和四十六年には県体協から、その功績により個人表彰を受け、同年十月には当協会が文部大臣表彰を受けるなど、輝かしい足跡を残され、さらに今後の活躍が期待されているときとて、氏の逝去は各界から惜しまれております。

昭和48年9月10日

## 朝日町職員採用試験公告

朝日町長 中 川 雍 一

この試験は、役場（病院を含む。）において事務的、技術的業務に従事する職及び保育所において乳児又は幼児の保育に従事する職への採用候補者を定めるために行なうものです。

## 1. 試験区分と採用予定人員

|              |     |
|--------------|-----|
| 一般事務職        | 若干名 |
| 技術職（土木、農業土木） | 若干名 |
| 保母           | 若干名 |

## 2. 受験資格

| 学 歴                                    | 年 令                                        | 男女の別    | その他の要件及び附記                                          |
|----------------------------------------|--------------------------------------------|---------|-----------------------------------------------------|
| 学校教育法による高等学校の卒業者及び昭和49年3月31日までの卒業見込者   | 昭和26年4月2日から昭和31年4月1日までに生まれた者               | 男 子     | (1) 必要学歴はこれと同等と認められる学歴資格を含みます。                      |
| 学校教育法による短期大学の卒業者及び昭和49年3月31日までの卒業見込者   | 昭和25年4月2日（保母は昭和23年4月2日）から昭和29年4月1日までに生まれた者 | （保母は女子） | (2) 技術職については、学校において必要な課程を履修したことを要します。               |
| 学校教育法による大学（4年）の卒業者及び昭和49年3月31日までの卒業見込者 | 昭和24年4月2日から昭和27年4月1日までに生まれた者               |         | (3) 保母については、保母資格を現に有している者又は昭和49年3月31日までに保母資格取得見込みの者 |

ただし、次の事項の一つでも該当する者は受験できません。

- (1) 日本の国籍を有しない者
- (2) 禁治産者および準禁治産者
- (3) 禁こ以上の刑に処せられ、その執行を終わるまで又はその執行を受けることがなくなるまでの者
- (4) 日本国憲法施行の日以後において、日本国憲法又はその下に成立した政府を暴力で破壊することを主張する政党、その他の団体を結成し、又はこれに加入した者

## 3. 試験の日時、場所、方法及び発表

|              | 日 時                                         | 試 験 場                                   | 方 法                                                                                               |
|--------------|---------------------------------------------|-----------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 第 1 次<br>試 験 | 昭和48年10月21日（日）<br>受付開始 午前8時30分<br>試験開始 午前9時 | 富山中部高等学校<br>（富山市芝園町）                    | (1) 教 養 試 験<br>公務員として必要な一般知能及び教養について、択一式筆記試験を行ないます。<br>(2) 作 文 試 験<br>文章による表現力、まとめ方等について行ないます。    |
| 第 2 次<br>試 験 | 昭和48年10月22日（月）<br>受付開始 午前8時30分<br>試験開始 午前9時 | 朝日町福祉センター                               | (1) 専 門 試 験（技術職及び保母）<br>その職に必要な知識、技術等について筆記試験を行ないます。<br>(2) 口 述 試 験<br>主として人物について個別面接による試験を行ないます。 |
| 身体検査         | 受験票受領の際指示します。                               | 泊 病 院                                   | (1) 身 体 検 査<br>職務遂行に必要な健康度を有するかどうか（主として胸部疾患の有無に重点をおく。）について検査します。                                  |
| 身上調査         | 受験資格の有無、申込書記載事項の真否、その他について調査します。            |                                         |                                                                                                   |
| 合格発表         | 昭和48年11月 中 旬                                | 朝日町役場前掲示場に掲示（公告）して発表するほか、合格者には書面で通知します。 |                                                                                                   |

## 4. 合格から採用までの経路

合格者は、その試験区分の採用候補者名簿に記載され、この中から成績順に採用者が決定されます。名簿は、昭和49年9月30日まで有効です。採用は、名簿の有効期間中において必要に応じて決定されるので、合格者全員が採用されるとは限りません。

## 5. 受付申込手続

|               |                                                                                                                                                                                     |
|---------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 申 込 用 紙 の 請 求 | (1) 申込用紙は、当朝日町役場総務課において交付します。<br>(2) 申込用紙を郵便で請求する場合は、封筒の表に「採用試験申込書請求」と朱書きし、返信用封筒（あて先、郵便番号を明記し、切手をはることを）を必ず同封してください。                                                                 |
| 申 込 方 法       | (1) 申込用紙に必要な事項を記入し、当朝日町役場総務課へ提出の上受験票を受領してください。<br>(2) 申込書郵送の場合は、封筒の表に「採用試験申込」と朱書きし、受験票送付のために10円切手を同封してください。<br>◎受験票には、申込前6ヶ月以内に撮った本人と確認できる写真（上半身、脱帽、正面向、縦6㎝、横4.5㎝）をはって試験当日持参してください。 |
| 受 付 期 間       | 昭和48年9月26日（水）から同年10月5日（金）まで受け付けます。<br>（平日午後5時、土曜日は午後0時30分まで、日曜日及び祭日は休み。）郵送の場合は、同年10月5日までの消印あるものに限り受け付けます。                                                                           |

## 6. そ の 他

この試験の詳細については、当朝日町役場総務課に問い合わせください。

# 郵便局だより

## にせ郵便局員にご注意

最近北陸のある市町村で、学生風の二人組が、郵便局員と称して、ケース入りプラスチック製表札を売り歩いているようですが、この押売りは郵便局とは全く関係ありません。郵便局員である場合には身分証明書を持参していますから、万一の場合その提示を求めてください。

## 善意

### 朝日町善意銀行

つぎのかたがたから、朝日町善意銀行へ、社会福祉の増進のために、貴重な善意を預託されました。

ここに厚くお礼申しあげます。

二千元也 河内 康則 殿

六百十五円也 山手 妙子 殿

いづれも拾得金やお小使の一部を恵まれない人達のためにと。

八百八十円也 笹川小学校児童会殿

一円硬貨を持ち寄って社会福祉のために役だててほしいと。

古切手 千五百枚

水島 啓子 殿

壹万円也 大家庄 とく名殿

交通遺児の方々の福祉のためにと

## 故 高松宗繁氏の

### ご遺族から

体育振興のためにと

二十万円寄贈

朝日町体育協会へ

このほど、先般逝去された故高松宗繁氏のご遺族(長男正安氏)から体育振興のために、朝日町体育協会に対し二十万円の寄付がありました。紙上を借りて厚くお礼申し上げます。

## 中高年令者の

### 求人就職についての

#### ご相談は

魚津人材コンサルタント室へ

めざましい経済の発展や技術革新にともない、経営の近代化を図るためには、すぐれた管理者や技術者が必要です。一方、これらの職業について豊かな知識経験を持ちながら定年などのため退職された方が多数あります。

## 相談ごと案内

心配ごと、苦情

不満などの相談は、

### 行政相談

日時 毎月第一火曜日

午前10時～午後3時

場所 朝日町福祉センター

### 人権法律相談

日時 九月十九日

午後一時～午後三時

場所 朝日町福祉センター

### 心配ごと相談

日時 毎週火曜日

午前10時～午後三時

場所 朝日町福祉センター

TEL三〇五七六

## 命寿吊

### ◆生まれた人

#### ◆結ばれた人

#### ◆なくなられた人

(昭和四十八年八月十五日現在)

### ◆出生 (おすこやかに)

|     |      |    |    |
|-----|------|----|----|
| 境尾  | 山崎義照 | 長男 | 永寿 |
| 横尾  | 島崎清和 | 二女 | 千波 |
| 横尾  | 堀田正隆 | 長男 | 繁幸 |
| 泊   | 上野武司 | 長女 | 泰子 |
| 泊   | 梅沢秀明 | 長女 | 直子 |
| 泊   | 川上彰  | 長女 | 良子 |
| 泊   | 川上茂  | 二女 | 直子 |
| 泊   | 西村勇  | 長女 | 康子 |
| 東草野 | 岡本政彦 | 二女 | 恵美 |
| 西町  | 谷口清美 | 二女 | 貴子 |
| 沼保  | 大村守二 | 男  | 樹  |

### ◆結婚 (おしあわせに)

|     |       |      |
|-----|-------|------|
| 沼保  | 長野保   | 木村律治 |
| 荒川  | 森由紀子  |      |
| 新潟  | 菅井義昭  |      |
| 荒川  | 古市洋子  |      |
| 魚津  | 前川久美子 |      |
| 赤川  | 田村憲次  |      |
| 窪田  | 佐渡章子  |      |
| 赤川  | 吉田勇   |      |
| 黒部市 | 山田浩二  |      |
|     | 袖沢昭美  |      |

### ◆死亡 (おくやみ申し上げます)

|    |            |
|----|------------|
| 宮崎 | 扇谷モリ子 (四六) |
| 横尾 | 梅沢いと (八六)  |

魚津人材コンサルタント室は、このような職業について専門的な立場から雇用のご相談や就職のあっせんを行ない、有為な人材の効果的な活用をはかり、あわせて産業の振興に寄与することを目的としております。年令四十才以上の管理的職業、専門的技術的職業及び事務的職業についての求人並びに求職についてご希望の方は、お気軽に当コンサルタント室をご利用ください。くわしいことは左記へどうぞ

魚津市本町一の四の三二  
魚津公共職業安定所二階  
電話 魚津(六六)二四一〇三六五

|     |      |    |     |
|-----|------|----|-----|
| 沼保  | 上島賢  | 長女 | 江里子 |
| 沼保  | 小杉昌幸 | 長男 | 洋平  |
| 沼保  | 野崎久司 | 長男 | 浩司  |
| 沼保  | 藤波享一 | 二男 | 玲児  |
| 沼保  | 藤田征二 | 長女 | 恵子  |
| 平柳  | 魚津寛  | 長女 | 美佳子 |
| 平柳  | 大和隆三 | 長男 | 高広  |
| 桜町  | 宇田正弘 | 長女 | 陽子  |
| 桜町  | 柏原和久 | 長女 | 佳奈  |
| 南保  | 谷口昌且 | 長女 | 真弓  |
| 南保  | 西岡敏男 | 長男 | 貴浩  |
| 南保  | 堀地武雄 | 長女 | 和美  |
| 蛭谷  | 谷口澄人 | 長女 | 陽子  |
| 山崎  | 名越稔  | 二女 | 裕美  |
| 山崎  | 七沢孟男 | 長男 | 卓友  |
| 細野  | 山崎由秋 | 長女 | 美紀  |
| 殿町  | 鹿熊安広 | 二女 | 幹子  |
| 大家庄 | 青木繁  | 長男 | 一典  |
| 横水  | 青木勝  | 長男 | 隆   |
| 金山  | 鍛冶守  | 長女 | 奈津子 |
| 金山  | 清水宣久 | 長男 | 哲也  |
| 舟川新 | 藤田昌弘 | 長男 | 亘   |

|     |            |
|-----|------------|
| 沼保  | 青木みよ (八二)  |
| 沼保  | 脇山長太郎 (七七) |
| 東草野 | 下沢ちい (六八)  |
| 西町  | 川端巖 (三六)   |
| 荒川  | 高松宗繁 (六三)  |
| 荒川  | 古市りよ (七一)  |
| 道下  | 岩田やい (七七)  |
| 桜町  | 高松吉次郎 (九〇) |
| 桜町  | 山手ちよ (八四)  |
| 南保  | 勝原しみ (七五)  |
| 南保  | 下坂静正 (一九)  |
| 山崎  | 安達健三 (七二)  |
| 山崎  | 安達耕作 (七五)  |
| 山崎  | 七沢秋子 (八二)  |
| 山崎  | 七沢はる (八四)  |

## 8月の町内交通事故数

| 月     | 件数 | 死者 | 負傷者 |
|-------|----|----|-----|
| 1月～7月 | 34 | 1  | 39  |
| 8月    | 9  | 0  | 10  |
| 本年累計  | 43 | 1  | 49  |



編集兼発行 朝日町役場  
印刷所 両越印刷  
送料 十二円  
定価 六円  
郵便番号 九三九一〇七